

Weekly Report



令和3年10月19日(火)
第2045回例会



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

作者の言葉
我が国は、長い歴史と文化を誇る。その中で、人々の生活は豊かになり、社会は発展してきた。しかし、最近では、自然災害や経済的困難など、人々の生活に大きな影響を与えている。我々ロータリアンは、このような困難に立ち向かい、人々の生活を豊かにするために、奉仕活動に取り組んでいる。これからも、互いに支え合い、共に成長していくことを目指す。

◆ 会長／古澤 利夫 ◆ 幹事／山口 篤 ◆ 会報／平岡 勉

● 例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
● 例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

● 川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

第2045回例会記録 令和3年10月19日(火) 8/48回

<点鐘>

古澤会長

<ソング> 四つのテスト

<表彰>

ロータリー財団ポールハリスフェローより福家会員、山口会員、井上久会員、北島会員が表彰され古澤会長より表彰状とバッジが授与されました。



<会長報告>

古澤会長

- 10/22(金) 日経新聞にロータリー広報記事掲載の案内
- 辰野克彦RI理事へのインタビュー(ロータリーとは・特色・活動他)
- ロータリー研究会第50回記念講演会「ポストコロナの生命哲学」の案内

2. 2020-21年度米山学友会総会&座談会の案内

10/30(土)13:00～ オンライン(Zoom)
米山奨学生カティ君が参加する予定です。

3. 麻生区社会福祉協議会より研修会の案内

「Zoomに挑戦してみよう!～はじめてのオンライン～」

4. 麻生防犯協会より「ふれ愛あさお」着

5. あさお芸術のまちコンサート推進委員会より
11/21のコンサートチラシ着

6. 先週お越しいただいた小倉ガバナー、越水ガバナー補佐へお礼のお手紙を送りました。

<幹事報告>

山口幹事

* 当クラブ例会予定

- 10/26(火) 米山奨学生カティ君卓話
- 11/2(火) 会員卓話
- 11/9(火) 招聘卓話(地区ロータリー財団関係者)
- 11/16(火) 会員卓話
- 11/23(火) 休日休会
- 11/26(金)・27(土) 地区大会
- 11/30(火) 地区大会へ振替

* ロータリー日本100年史という本が置いてありますので興味のある方は御覧ください。

<前年度会計報告>

鈴木清会員

配布しました報告表の会計監査が相違ないことを確認しました。

第2047回	11月2日	会員卓話
第2048回	11月9日	招聘卓話 地区ロータリー財団関係者
第2049回	11月16日	会員卓話

<ニコニコ委員会>

佐々岡委員

古澤会長→「中島委員長、財団セミナーのお話宜しくお願い致します」。山口幹事→「中島健児ロータリー財団委員長、セミナー報告よろしくお願い致します」。大矢会員→「12時よりオーパの前で笠さんの出陣式です」。以下、感謝をこめてニコニコへ。赤本会員、阿久澤会員、安藤亨会員、安藤美恵子会員、青柳会員、福家会員、平岡会員、井上久会員、井上勇会員、鴨志田会員、北島会員、小島会員、小塚会員、中島眞一会員、中島健児会員、中村会員、野島会員、大西会員、親松会員、佐藤会員、左藤会員、関田会員、嶋会員、鈴木文夫会員、鈴木孝英会員、鈴木清会員、玉井会員、渡邊会員、結城会員、佐々岡会員。

<出席委員会>

青柳委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第2045回	47	35	12		74.47%
第2044回	47	40	7		85.11%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	33件	33,000円	179件	221,000円
財団	2件	27,000円	11件	187,000円
ベネファクター	0件	0円	1件	112,000円
米山	2件	30,000円	9件	140,000円

<ロータリー財団委員会>

中島健児委員長

井上久会員、井上勇会員より頂きました。

<米山奨学委員会>

安藤亨委員長

井上久会員、井上勇会員より頂きました。

本日のプログラム

<委員会報告> 中島健児ロータリー財団委員長

10月8日に第2590地区ロータリー財団セミナーが開催されましたのでその報告をしたいと思います。

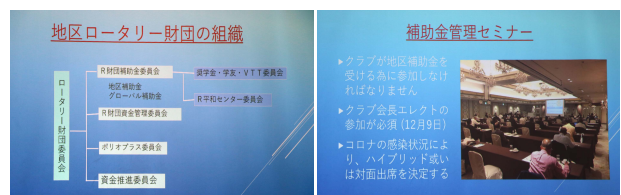
その前にロータリー財団の基礎知識について簡単に説明します。まずロータリー財団の使命ですが、「ロータリー会員が健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平



和を達成できるようにすること」です。また、ロータリー財団の理念は「世界でよいこと」の実践です。この理念の実践の為、ロータリー財団の事業は大きく4つのプログラムに分かれています。①「地区補助金」プログラム、②「グローバル補助金」プログラム、③「ポリオプラス」プログラム、④「ロータリー平和センター」プログラムです。これらの事業は世界中のロータリアン一人一人の寄付金を原資として運営されており、ロータリー財団への寄付は団体の理念でもある「世界でよいこと」の実践に繋がっているということをご理解下さい。

今回のセミナーはZoomによるオンライン開催でした。内容は①地区RC財団の概要、②RC平和センタープログラムについて、③ポリオの現状について、④補助金の配分とRC財団の資金の使われ方、⑤地区補助金の概要、⑥グローバル補助金の概要、⑦奨学金制度の概要など11のテーマについて報告、説明がありました。第2590地区のロータリー財団には4つの小委員会があります。ロータリー財団補助金委員会、ロータリー財団資金管理委員会、ポリオプラス委員会、資金推進委員会です。今年度の地区の活動方針は以下の通りです。COVID-19によるパンデミックで社会は多くの危機を体験しました。ロータリー奉仕活動も例外ではなく活動を縮小せざるを得ませんでした。年度後半はコロナの状況によりコロナ以前の状況に戻したいと思っております。ロータリークラブの目標は世界でよいことをすることですが、人との密集を避ける必要があるため奉仕活動が制限されてしまいました。したがってリモートの充実に努め財団活動が停滞することなく継続することに努力したいと思います。

補助金管理セミナーはクラブが地区補助金を受けるためには必ず参加しなければなりません。クラブ会長エレクトの参加が必須です。コロナ感染による開催の形式については感染の状況によりハイブリッドあるいは対面による参加か決定するという事です。最後に会員の皆様におかれましては前年同様ご支援ご協力をよろしくお願いしますとのことです。



<点鐘>

古澤会長